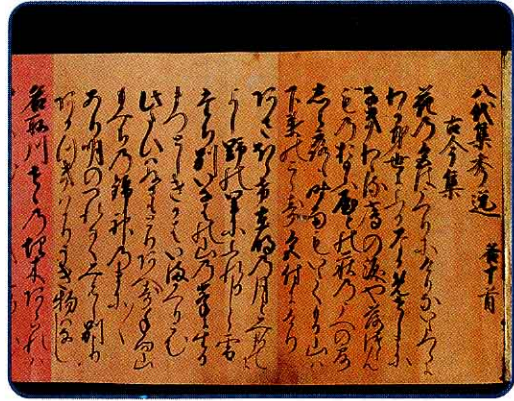
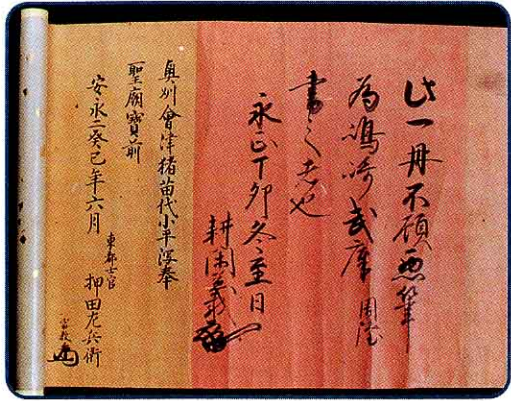


文化財として、兼載ゆかりの神社である小平瀉天満宮こびらかたてんまんぐうにのこされています。



八代集秀逸歌

58才のとき、天神てんじん浜はまでよんだ、
「五月さみだれ雨あめに

松とおざかるすさきかな」
は、ふるさとの風けいをうたった
名句といわれています。

兼載は、1510年に59才でなくなり、
古河ふるかわの方福寺まんぶくじにほうむられました。



小平瀉天満宮

献歌碑

(天満宮境内)



兼載歌碑

(天満宮境内)

